未来を切り拓く企業・団体を顕彰

「エコノミスト未来賞 2026」授賞式を開催



2023年に「週刊エコノミスト」創刊100周年の記念事業として創設された「エコノミスト未来賞」の授賞式が、8月26日(水)、東京都目黒区の恵比寿ザ・ガーデンルーム(恵比寿ガーデンプレイス内)で開催された。今年は6部門で20の企業・団体が受賞。当日は、各受賞者の優れた活動を紹介するとともに、代表者に栄えあるトロフィーが授与された。

6部門の優れた活動に様々な視点から高い評価

週刊エコノミストが、マクロ経済を読み解く経済誌として産声をあげたのは、関東大震災が発生した1923(大正12)年の4月1日。以来、世紀を跨ぎながら昭和、平成、令和と激動する時代の変遷を映し出し、経済学者や一般読者、学生に至る幅広い購読層に、世界経済の動きを記録・分析して発信する使命を担ってきた。こうして迎えた2023年の100周年に立ち上げたのが「エコノミスト未来賞」である。

この賞は、質の高い硬派な経済報道を目指してきた本誌の歴史的な歩みを反映し、グローバルな視点で日本と世界の未来を切り開く活動を顕彰するもの。2026年は「デジタル革新部門」「未来創造部門」「グローバル挑戦部門」「プロフェッショナル部門」「健康未来部門」「産業革新部門」の6部門で、20の企業・団体が選出された。



栄えある受賞トロフィー



受賞者と多くの関係者が詰めかけた授賞式会場

「エコノミスト未来賞 2026」各部門 授賞者

産業革新部門

株式会社シーエープラント
代表取締役社長
伊地知 祐吉氏

クロダ精機株式会社
代表取締役
佐々木 俊一氏

株式会社NO NAME
代表取締役
安間 信裕氏

株式会社三光堂
代表取締役会長 CEO
大野 正和氏

プロフェッショナル部門

岐阜自動車輸送株式会社
代表取締役社長
田島 恭子氏

マネレボ株式会社
代表取締役
大久保 美伽氏

株式会社アセットビルド
代表取締役
猪俣 淳氏

弁護士法人N&O Partners／
名取・大木法律事務所
代表弁護士
大木 怜於奈氏

グローバル挑戦部門

株式会社永井園
代表取締役
永井 孝資氏

株式会社東京コンサルティングファーム
取締役会長
久野 康成氏

行知学園株式会社
代表
楊 舸（よう が）氏

健康未来部門

つくば夜間動物病院
院長
唐津 健輔氏

よしクリニック
院長
中野 貴光氏

浜野胃腸科外科医院
副院長
浜野 徹也氏

デジタル革新部門

エクイティ・コンサルティング・グループ株式会社
代表取締役
中川 晃太氏

オアード株式会社
代表取締役
遠藤 歩氏

株式会社スマイルワークス
代表取締役社長
坂本 恒之氏

未来創造部門

株式会社タミヤホーム
代表取締役社長
田宮 明彦氏

アルファベット株式会社
代表取締役
宗像 恒憲氏

一般社団法人愛知県介護福祉士会
会長
下山 久之氏

受賞者のコメントに本賞の意義を実感

授賞式では、まず週刊エコノミストを発行する毎日新聞出版の山本修司社長が登壇。「世界各地で紛争が起こるなど、由々しき時代を迎えている中では、自分たちに何ができるかを考えることが最も重要になる。皆さんは、社会にいま何が役立ち、これから何が求められるかを見据え取り組んでおり、それぞれの優れた活動が今後さらに発展していくものと確信している」とその功績をたたえた。

続いて各部門の受賞者が登壇し活動が紹介され、山本社長からトロフィーが授与された後、各受賞者が活動の背景や意義、今後への思いなどを語った。その中では、スマイルワークスの坂本代表が「日本のGDPの半分は中小企業が生み出している付加価値で、その生産性を高めれば日本経済も上向きになる。これからも一社一社支援していきたい」とコメント。タミヤホームの田宮代表は「私には命に向き合った経験が一度あり、人生の最後に残るのは人とのつながりと誰かへの『ありがとう』だと気づいた。これからも社会課題に向き合い、『ありがとう』を世の中に広げたい」と思いを込めた。また、マネレボの大久保代表は「私には、自分の人生を自分で選べる女性を増やすという、実現したい未来がある。多くの女性が新しい挑戦により、お金で諦めない人生をつかめるよう、活動を続けていく」と決意を述べた。

会場では、受賞者一人一人のコメントに深くうなずく参加者の姿が多くみられ、それぞれの受賞活動とそれを顕彰する本賞の意義の大きさを実感させた。

価値を創造する企業をこれからも顕彰し応援

東京商工リサーチ（TSR）の調査によれば、2026年に創業100周年を迎える企業は全国で3154社あり、創業100年を超える老舗企業の総数は4万9158社にのぼるという。100年を超える歴史を刻んできたということは、それだけ社会的な価値を創造し人々に届けてきた証であり、今回の受賞団体・企業にも相通じるものがあるだろう。

週刊エコノミストは、世界経済の動きを独自の視点で分析・発信するとともに、未来を切り開く企業の活動をこれからも顕彰していきたいと考えている。

「エコノミスト未来賞2026」について詳しくは ▶ https://www.weekly-economist.com/mirai-award2026/